

新企画
わつまんが

雪の戯れ



作：佐川明日香
京都造形芸術大学 情報デザイン学科
コミュニケーションコース 4回生
将来の夢…マンガ家

関西の上質な演芸文化のために…

NPO法人関西演芸推進協議会 ～会員になって一緒に盛り上がりませんか?～

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。
あなたの入会で、まず一歩、参加してもう一歩…と、おひとりおひとりの思いと存在がこの協議会、そして演芸会を活性化します。
皆様のご入会はもとより、ご友人、お知り合いの方にもお声かけをいただけましたら幸いです。



- 主目的
- 1 定期例会の実施
 - 2 関西演芸大賞の設立 (※年に1回大賞を授与)
 - 3 芸人のための劇場をつくる
- 会員特典
- 1 定期例会に、会員料金が予約できる。
 - 2 関西演芸推進協議会が企画する各種交流会、勉強会に参加できる。
 - 3 会報誌の発行(年3回)

■会費

入会金	個人会員	2,000円
	賛助会員	20,000円
年会金	個人会員	年間1口 3,000円
	賛助会員	年間1口 30,000円

※いずれも何口でも可能。

くわしくは公式ウェブサイト
をご覧ください。

<http://www.walive.org>

続けていくことが何より大事!

関西の演芸全般を広く支援していこう、というこの関西演芸推進協議会は、設立半年余りを経て、芸人仲間にも徐々にその存在が知られてきました。「笑らいふ」の出演希望者が増えつつあるなか、息の長い活動を続けていくことが何より大切になってくると思います。出演者、支援者ともに意欲をもって、発展に努めていきましょう。



関西演芸協会 暁 照夫

演芸にまつわる雑学をご紹介します!

「禁じ言葉、楽屋言葉」

今回は、桂 福団治師匠を直撃!
楽屋の話をお聞きしたのでご紹介いたします。

我々芸人の世界では、興行に対して一様に
ゲンを担ぐということがあります。たとえば「する」、

「へる」は禁じ言葉でして、すり鉢は「当り鉢」、スリッパは「当りッパ」、硯石は「当り石」とすべて言い換えます。また楽屋言葉としては、客入りの多いことを「今日はお客さんが濃い」、その逆を「薄い」、お客さんの反応も好い、悪いとは言わず、「今日のお客さんは軽い」、「重い」などと婉曲に表します。事程左様に、芸人は昔からお客さんの入りや反応を気にかけてきたわけですね。



編集後記

～いつも一緒にいたかった～隣りで笑ってたかった～ラジオから流れてきた楽曲に心奪われる、人恋しい秋を過ごしています。このフレーズから思うこと、『笑わせてくれる人』がいることって幸せなことなんだな～と。芸人さん、皆様に笑って頂きたいという思いやりに添ってくださってられるんだな～と、この会報誌「笑らいふ」を編集しながら、しみじみ感じたりしています。身近なところにも「笑い=思いやり」が、いっぱい溢れていると思います。この秋は、しゃべくり浴びに出掛けののもいいもんかな～?<あ～、さっふ～(〇〇)>ではまた次号でお会いできますこと、楽しみにしております。

イベント報告&案内

■関西演芸推進協議会

第一回交流懇親会「笑門来福 大忘年会!」
平成19年12月11日(火) 18:30～20:30間で(予定)

会場:ホテルメトロ21 (大阪市中央区宗右衛門町2-13 TEL.06-6211-3555)
会費:会員5,000円 同伴の方 6,000円 当日、会場にて申し受けます。
なお、ご参加いただける方は、11月30日(金)までに人数を、メールまたはFAXで事務局までお知らせください。
※会員様以外の方のご参加も大歓迎いたします。

■関西演芸推進協議会「第3回笑ライブ」

平成20年2月24日(日) PM2:00開演 於:そごう劇場(そごう心齋橋本店14階)
3回目の笑らいふはボリュームたっぷりの2回公演!
出演者など、決まり次第会員の皆様には最優先でご案内しますので、お楽しみに♪

NPO法人関西演芸推進協議会
の公式ウェブサイトもご覧ください!

<http://www.walive.org>

笑らいふ 検索

イベントのスケジュールや各種ご案内をアップしてまいりますので、ブックマークに登録してくださいね!

会報誌「笑らいふ」への広告掲載も募集中です! お問い合わせは下記まで…

NPO法人関西演芸推進協議会<事務局>
大阪市浪速区難波中1-10-4 千房株式会社内
TEL.06-6633-1430 FAX.06-6633-1435 info@walive.org

関西演芸推進協議会 会報誌
w a l i v e
笑ライブ
「笑ライブ」とは「笑」、「演」、SHOW(見せる)→LIVE(ライブ)の意味と、
「WA」の意味する平和の「和」、みんなの手を繋ぐ「輪」の思いから名前にしました。
発行/NPO法人関西演芸推進協議会 編集部
<事務局>大阪市浪速区難波中1-10-4 千房株式会社内
TEL.06-6633-1430 FAX.06-6633-1435
<http://www.walive.org> info@walive.org

第2号 2007年11月

INFOMATION

CONTENTS

- ☆NPO法人認証記念懇親会開催 1頁
- ☆イベントレポート(第1回笑らいふ) 2頁
- ☆NPO法人関西演芸推進協議会員の紹介(ご寄稿文) 3頁
- ☆定例会から... 協議会入会のご案内 他 4頁

10月1日は記念の日.....NPO法人 関西演芸推進協議会誕生!!



NPO法人認証記念発足式開催

10月1日(月)、法務局にてNPO法人取得の諸手続きを滞りなく済ませ、同日、午後6時30分より大阪・難波のスイスホテルにて関西演芸推進協議会のNPO法人認証記念発足式が開催されました。専務理事中井政嗣氏、副会長桂福団治師匠の挨拶にはじまり、正司敏江師匠の乾杯の音頭で会がスタート。晴れて法人となった当協議会の今後の活動指針、法人としての位置付けについてなどの説明が執り行われる中にも、さすが笑いのプロ!上方演芸の話を中心に和やかな雰囲気の中で。当協議会のメインテーマ「若手芸人の育成」についてを切り口に、副会長の桂福団治師匠は寄席での苦労話、関西演芸協会の5原則など、今どきの芸人に備わっていない芸人魂の要についての講話をいただきました。また、敏江師匠からは、ご自身の生い立ちにはじまり、子どものころの苦労話、弟子入りしてからのことなどの話を頂戴し、涙を笑いに変えて来られた芸への基本概念をじっくりと素で語られる横顔から、芸を「素」で演じる身体を張ったプロ根性を垣間見、参加された方は暫し聞き入っておられるようでした。
即興で実のある話しをされる、また聞かせていただけるのも「NPO法人関西演芸推進協議会」ならではの貴重な会合です。次はどんなネタ話の聞けるのか、楽しみです。
さて、協議会の現在の状況ですが、個人会員310名、賛助会員11社の規模になってきています。これからも、会員の皆様との交流の場も企画し、随時ご案内して参りますので、各種イベントなどへのご参加のほどよろしくお願い致します。



▲第1回定例会の模様で記念すべき撮影を行いました。

